

せきゆけんぽフットサル大会 競技規則

2023年11月19日（日）開催



ケガをしないように
たのしみましょう！

◆はじめに

大会の開催にあたり、安全で誰もが楽しめるフットサル大会とするため、「せきゆけんぽフットサル大会 競技規則」を作成しております。

当大会競技規則については、参加されるすべての選手の方に事前にご理解いただき、大会の円滑な実施、ケガの防止などに努めていただきますようお願いいたします。

なお、当大会競技規則については、FIFA規程「フットサル競技規則（2022/2023）」に準じており、大会運営に必要なせきゆけんぽ独自のルールを設けております。

また、当大会競技規則に記載されていない事項は、FIFA規程「フットサル競技規則（2022/2023）」を適用することとしています。

日本サッカー協会HP (<http://www.jfa.or.jp/match/rules/index.html#futsal>)

◆競技者

試合は各チーム5人以下の選手によって行われます。（うち1人はゴールキーパー）
各チーム5名以上10名以下のエントリーとします（女性の参加可）

◆必要な用具

- 1.ユニフォームを着用される場合は、個人ごとに固定番号をお願いいたします。
ユニフォームが揃わない場合は、せきゆけんぽで用意したビブスを着用して下さい。
- 2.ハイソックス
※すね当てを入れられるように必ずハイソックスをご用意ください。
- 3.すね当て（せきゆけんぽで必要数を配布します。）
※ケガ防止のため着用しない場合は試合に出場できません。
- 4.フットサルシューズまたは靴底がゴム、または類似の材質のスニーカー
（サッカースパイクは禁止です）
- 5.キーパーグローブ（せきゆけんぽで1チームにつき1セット配布します）
- 6.メガネ・時計・装飾類の着用した方は参加できません。
（プラスチック製のスポーツメガネなどは可）

◆選手の交代

最大5名までの交代を行うことができます。

インプレー中、アウトプレー中にかかわらず、交代ゾーンを用いてフィールドプレイヤーもゴールキーパーも自由に交代できます。

ただし、交代でピッチ外に出る選手が完全にタッチラインを越えるまでは、交代で入る選手がピッチ内に入ることはできません。

交代して退いた選手は、その試合に再び参加することができます。

◆試合時間

予選リーグ：前・後半なしの7分

決勝トーナメント：前・後半ともに5分

なお、大会運営上、ボールがピッチの外に出た場合においても時計は止めません。ただし、主審が特に必要と判断した場合のみ時計を止めることとします。

また、ハーフタイムのインターバル時間は設けていません。（コートチェンジのみの時間）

◆得点

ボール全体がゴールラインを越えたとき、1得点となります。

また、特別ルールとして、**女性による得点は2得点**となります。

◆勝利チーム

試合中により多く得点したチームを勝ちとします。両チームが同点または共に無得点の場合、試合は引き分けとなります。

なお、決勝トーナメントにおいて、試合時間内に決着がつかない場合は、PK（両チーム5本、5本で決まらなければサドンデス）により勝利チームを決定します。

◆キックイン

タッチラインを越えたとき、スローインではなく、キックインで競技が開始されます。
（ボールはタッチライン上に置く）

走り込んで蹴る、立ち足・蹴り足がピッチ内に入っても構いません。

◆キックオフシュート

キックオフから直接得点することはできません。（キックインも同様）

◆ゴールクリアランス

11人制サッカーのゴールキックの代わりです。

ゴールクリアランスはキーパーズローのみです。（蹴ることはできません。）

◆ゴールキーパーのプレイ

インプレー中にゴールキーパーがキャッチしたボールは、投げるか蹴ることができます。

また、ペナルティーエリアの外でもプレーできますが、4秒以上ボールをキープする事はできません。
（ゴールキーパーの4秒ルール）

ゴールキーパーは直接得点する事ができます。
ただし、ボールを投げて、直接相手ゴールにボールが入った場合の得点は認められません。

◆バックパス

ゴールキーパーへのバックパスについて制限はありません。

◆反則

原則的にFIFA規程「フットサル競技規則（2022/2023）」に準じて判断しますが、**激しいショルダーチャージとスライディングタックルは禁止**します。

特に、ゴールキーパーや女性選手に対するファウルは厳しく反則を取ることとします。（女性選手への激しいファウルは退場になります）

反則があった場合、その場所からフリーキックが与えられます。

ファイブファウルルールを適用します。

各チーム累積ファウルをカウントし、6つ目のファウル以降は第2ペナルティマークからのペナルティーキック（PK）が与えられます。

（ゴールより10m、壁なし、直接得点を狙ってキックする。）

あるいは、反則を受けた所からの直接フリーキックとなります。

スライディングタックルはその時点でイエローカードが与えられます。

イエローカード2枚で退場となります。（レッドカードは1枚で退場）

退場者が出た場合、その試合は少ない人数でプレイする事になります。

退場となった選手は、その試合に戻ることはできません。（次の試合には出場可）

審判への抗議、暴言はペナルティの対象となります。

◆フリーキック

選手に反則があった場合、フリーキックが相手に与えられます。

フリーキックは違反の起きた場所、または違反が起きたときにボールがあった位置、もしくは第2ペナルティーマークから行われます。

すべての相手選手は、ボールが蹴られて移動（インプレー）するまでは、5m以上ボールから離れなければなりません。

1)直接フリーキック（無謀、過剰な力で犯した反則による）

ボールが直接相手ゴールに入った場合、得点となります。

（自分のゴールに直接入った場合は、オウンゴールではなく、相手のコーナーキックとなります。）

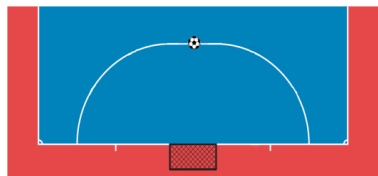
ペナルティーエリア内での反則は、ペナルティーキック（PK）となります。

2)間接フリーキック

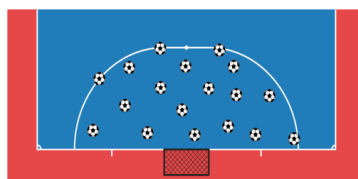
キックされたのち、ゴールに入る前に他の競技者がボールに触れた場合のみ得点となります。

（自分のゴールに直接入った場合は、オウンゴールではなく、相手のコーナーキックとなります。）

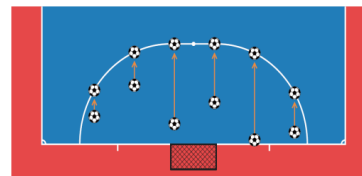
ペナルティーキック（PK）
（ボールが前方に蹴られてインプレー）



ペナルティエリア内で守備側に与えられた直接・間接フリーキック



攻撃側の間接フリーキック



◆コーナーキック

最後に守備側競技者が触れたボールがゴールラインを超えた場合、攻撃側のコーナーキックとなります。コーナーキックから直接得点することもできます。

◆リスタートの4秒ルール

キックイン、ゴールクリアランス、フリーキック、コーナーキックなどのリスタートは、**4秒以内**に行われなければなりません。4秒を超えると相手側のボールになります。

◆オフサイド

オフサイドはありません。

◆タイムアウト

大会運営上、タイムアウト（作戦タイム）は設けていません。

◆その他

グループリーグにおいて、勝点（勝：3点 分：1点 負：0点）が同一の場合、得失点差で順位を決定します。
なお、得失点差も同じ場合、得点数の多いチームとします。得点数も同じ場合には、両チームの代表者によるジャンケンで決定します。

◆ 審判のシグナル（代表例）



直接フリーキック
ペナルティーキック



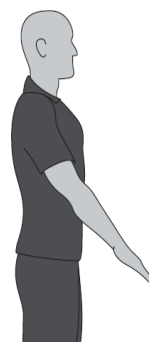
間接フリーキック



コーナーキック



4秒のカウント



ゴールクリアランス

◆ 参考：直接フリーキックで罰せられるファウル

相手選手を「ける」「けろうとする」「つまずかせる」「飛びかかる」「チャージする」「打つ」「打とうとする」「押す」「タックルする」「押さえる」「つばを吐く」「ボールを意図的に手または腕で扱う」